

| 科目名：人間関係（指導法）（必修 1単位） （演習） | | 担当教員名：阿部真樹子 指導形態：単独 | 使用テキスト：領域「人間関係」＝萌文書林 |
|---|-----------------------------------|--|----------------------|
| 科目 | 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | 施行規則に定める科目区分又は事項等 | 保育内容の指導法 |
| <p>【全体目標】他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養うことを目指す。幼稚園教育において育みたい資質や能力について理解し、幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想し実践する方法を身に付ける。</p> <p>【授業の概要】乳幼児期の人間関係の育ちの特徴を事例について研究しながら、スピーチやグループ討議などを行うことで学生のコミュニケーション能力の向上をも目指す。</p> | | | |
| 回 | 項目 | 内 容 | |
| 1 | オリエンテーション 領域「人間関係」における保育及び教育の目標 | 冒頭で授業の概要についての説明を行う。幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針の基本原則や目標を理解する。 | |
| 2 | 領域「人間関係」におけるねらいと内容 | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針のねらいと内容を理解する。人間関係の育ちを支える指導について具体的な事例に基づきグループ討論する。 | |
| 3 | 身近な人との関わりと発達 | 愛着の形成と分離行動、自我の芽生え、思いやイメージを言葉で表現することについて事例研究し指導方法を考える。 | |
| 4 | 保育者に求められている人間関係 | 乳児期や幼児期の関わりについて考察し、保育者同士、保護者との関わりについてロールプレイをし、その様子をビデオ撮影して全員で振り返りをする。 | |
| 5 | 仲間との関わりと発達 | 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のうち、領域「人間関係」と関係の深い「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」について、幼児の発達を理解するために必要な教師の視点について事例研究しグループ討論する。 | |
| 6 | 遊びのなかでの人との関わりと保育者の役割Ⅰ | 遊びのなかでイメージを共有することや仲間入りをめぐる保育者の役割など、幼稚園での子どもたちの遊びのなかでの人との関わりについて、幼稚園見学で学びレポートにまとめる。 | |
| 7 | 遊びのなかでの人との関わりと保育者の役割Ⅱ | 遊びのなかで試行錯誤しながら人と関わることで子どものどのような育ちが見られるか、また環境の重要性について、保育園見学で学びレポートにまとめ保育構想に活用できるようにする。 | |
| 8 | 遊びのなかでの人との関わりと保育者の役割Ⅲ | 遊びのなかでの子どもたちの自己主張・葛藤・育ち合いに保育者がどのような役割を果たしていくかについて事例研究をし、保育者のあるべき支援を探る。 | |
| 9 | 遊びのなかでの人との関わりと保育者の役割Ⅳ | 協同的な遊びや時間がかかる遊びを通して子どもはどのように育つか、小学校へつなぐ育ちを支える人間関係についてワールドカフェを行う。 | |
| 10 | 人との関わりが難しい子どもへの支援 | 集団生活に困難を伴う子どもへの保育、誰もが居場所のある集団作りについて事例研究を行う。さらにロールプレイで実践力を養う。 | |
| 11 | 領域相互の関連性と保育展開Ⅰ —指導計画の意義・作成・実践例 | 0～2歳児の指導計画の意義を学び、実際に作成、実践してみる。 | |
| 12 | 領域相互の関連性と保育展開Ⅰ —指導計画の意義・作成・実践例 | 3歳児の指導計画の意義を学び、実際に作成、実践してみる。 | |
| 13 | 領域相互の関連性と保育展開Ⅰ —指導計画の意義・作成・実践例 | 4歳児の指導計画の意義を学び、実際に作成、実践してみる。 | |
| 14 | 領域相互の関連性と保育展開Ⅰ —指導計画の意義・作成・実践例 | 5歳児の指導計画の意義を学び、実際に作成、実践してみる。 | |
| 15 | スピーチ | 領域「人間関係」に関するテーマについて2分間スピーチを行う。その後全員に対する講評を行う。 | |
| 参考書・参考資料等：保育者の常識 男女共同白書 子ども白書 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針 幼稚園教育要領 | | | |
| 学生に対する評価方法：筆記試験80点、スピーチ10点、読書感想文10点の総合評価 | | | |